

科目区分：外国語科目（英語）

授業科目名	総合英語					学期	曜日	校時
英語名	Comprehensive English							
担当教官名	築取和紘	単位数	1単位	必修選択	必修	前期	月曜日	2校時
授業のねらい・内容・方法								
<p>「総合英語」は英語の4技能を総合的に伸ばすことをねらいとしています。この授業では特に「聴く・読む・書く」の3つを目標とします。まずネイティブ・スピーカーが吹き込んだテープを聴くことで自然な英語に慣れることができるでしょう。次に教科書の英文は大学生が読むにふさわしい内容で、<i>The Asahi Shimbun</i>, <i>Newsweek</i>, <i>Time</i>, <i>The Los Angeles Times</i> などから採られています。さらに練習問題は、語彙・聞き取り・内容理解・対話・有用な表現に関するもので、変化に富んでいます。世界の出来事に好奇心をもって記事を読み、十分な予習をしたうえで授業に臨めば、バランスのとれた英語力を身につけることができると思います。</p>								
テキスト、教材等								
岩政伸治ほか <i>Different Voices—Understanding Cultural Issues in Japan and the World</i> 『日本と世界の情勢を知る12の記事』（金星堂、2004年）1800円								
対象学生	成績評価の方法					教官研究室		
2M15	成績は { 学期末試験 : 65% 授業中の発表 : 25% 出席状況 : 10% } で出します。							
授 業 計 画								
1) 授業は学生の予習を前提として行います。すなわち、学生が教科書本文を読んで内容を理解し、練習問題にも自分なりの答えを書き込んでいるものとして授業を進めます。もちろん難しく理解できない箇所があれば質問してかまいませんし、説明を求めることもできます。また練習問題の答え合わせもきちんとやります。 2) 授業で学習したことは学期末に試験をし、100点満点の点数を65点満点に換算します。 3) さらに授業中の学習態度も評価の対象となります。学生が自分の答えや考えを発表した場合は、その回数によって加点しますが、何も発表しない場合は0点です。そして出席状況も成績に反映させ、出席の回数に応じて点数を与えます。 4) 20分までの遅刻は出席と認めますが、それ以上になると欠席扱いとするので注意してください。但し、欠席が5回になると、理由の如何を問わず、学期末試験を受ける資格を失います。 5) 4月最初の授業で教科書を販売し、授業の進め方や評価法について詳しく説明します。受講生は全員必ず出席してください。なお、再履修を希望する学生は1回目の授業でのみ受け付けます。 6) <b>授業予定</b> 1. (4/12) Ishigaki: A Model for Japan 2. (4/19) Confronting Marital Violence Behind the Shoji Screen 3. (4/26) Cultural exchange is a form of national security. 4. (5/10) Japan must lead way in conservation and recycling 5. (5/17) Lawmakers turned off by bureaucrats' birth-promotion moves 6. (5/24) Everything under the sun at Tokyo lost-and-found 7. (6/07) 復習・まとめ・小テスト 8. (6/14) The tragedy of the world's child soldiers 9. (6/21) Americans and Guns 10. (6/28) Muslim Mind, Female Body 11. (7/05) Iranian director scoffs at scandal, focuses on Afghan misery 12. (7/12) Police Moves on L.A. Teen Not 'Reasonable' -Expert 13. (7/26) CIVILIAN DEATHS: The Bombs That Keep On Killing 14. (8/02) 復習・まとめ・小テスト 7) <b>前期末試験</b> ：8月9日								